



取扱説明書

製品名称

SI ユニット

型式 / シリーズ / 品番

EX140-SCS※

SMC株式会社

目次




1. 安全上のご注意	2
2. 概要	2
3. 適用電磁弁	7
4. 仕様	8
5. 各部の名称と機能	8
5-1 動作表示 LED	10
5-2 端子台	11
5-3 アドレス設定(局番設定)	12
6. 配線方法	13
6-1 通信線の接続法歩	13
6-2 終端抵抗	13
7. トラブルシューティング	14

1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格(ISO/IEC)、日本工業規格(JIS) ※1) およびその他の安全法規 ※2)に加えて、必ず守ってください。

- ※1) ISO 4414: Pneumatic fluid power -- General rules relating to systems.
ISO 4413: Hydraulic fluid power -- General rules relating to systems.
IEC 60204-1: Safety of machinery -- Electrical equipment of machines. (Part 1: General requirements)
ISO 10218-1992: Manipulating industrial robots-Safety.
JIS B 8370: 空気圧システム通則
JIS B 8361: 油圧システム通則
JIS B 9960-1: 機械類の安全性 - 機械の電気装置(第1部: 一般要求事項)
JIS B 8433-1993: 産業用マニピュレーティングロボット-安全性 など
- ※2) 労働安全衛生法 など

-  **注意**: 取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみが発生が想定されるもの。
-  **警告**: 取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
-  **危険**: 切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

警告

- ① **当社製品の適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。**
ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。常に最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。
- ② **当社製品は、十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。**
ここに掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。
機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- ③ **安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。**
1、機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから行ってください。
2、製品を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源と該当する設備の電源を遮断するなど、システムの安全を確保すると共に、使用機器の製品個別注意事項を参照、理解してから行ってください。
3、機械・装置を再起動する場合は、予想外の動作・誤動作が発生しても対処できるようにしてください。
- ④ **次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策への格別のご配慮をいただくと共に、あらかじめ当社へご相談くださるようお願い致します。**
1、明記されている仕様以外の条件や環境、屋外や直射日光が当たる場所での使用。
2、原子力、鉄道、航空、宇宙機器、船舶、車両、軍用、医療機器、飲料・食料に触れる機器、燃焼装置、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用、およびカタログの標準仕様に合わない用途の場合。
3、人や財産に大きな影響をおよぼすことが予想され、特に安全が要求される用途への使用。
4、インターロック回路に使用する場合は、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの2重インターロック方式にしてください。また、定期的に点検し正常に動作していることの確認を行ってください。

注意

当社の製品は、製造業向けとして提供しています。

ここに掲載されている当社の製品は、主に製造業を目的とした平和利用向けに提供しています。製造業以外でのご使用を検討される場合には、当社にご相談いただき必要に応じて仕様書の取り交わし、契約などを行ってください。
ご不明な点などがありましたら、当社最寄りの営業拠点にお問い合わせ願います。

■保証および免責事項／適合用途の条件

製品をご使用いただく際、以下の「保証および免責事項」、「適合用途の条件」を適用させていただきます。

下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

- ① 当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内、いずれか早期に到達する期間です。^{※3)}
また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業拠点にご確認ください。
- ② 保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換部品の提供を行わせていただきます。
なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。
- ③ その他製品個別の保証および免責事項も参照、理解の上、ご使用ください。

※3) 真空パッドは、使用開始から1年以内の保証期間を適用できません。
真空パッドは消耗部品であり、製品保証期間は納入後1年です。
ただし、保証期間内であっても、真空パッドを使用したことによる磨耗、またはゴム材質の劣化が原因の場合には、製品保証の適用範囲外となります。

『適合用途の条件』

海外へ輸出される場合には、経済産業省が定める法令(外国為替および外国貿易法)、手続きを必ず守ってください。

■ 図記号の説明

図記号	図記号の意味
	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

■ 取扱い者について

- ① この取扱説明書は、空気圧機器を使用した機械・装置の組立・操作・保守点検するかたで、これらの機器に対して十分な知識と経験をお持ちのかたを対象にしています。
組立・操作・保守点検の実施は、このかたに限定させていただきます。
- ② 組立・操作・保守点検に当っては、この本書をよく読んで内容を理解した上で実施してください。

■ 安全上のご注意

警告	
 分解禁止	■ 分解・改造(基板の組み替え含む)・修理はしないこと けが、故障の恐れがあります。
 禁止	■ 仕様範囲を超えて使用しないこと 引火性もしくは人体に影響のあるガス・流体には使用しないでください。 仕様範囲を超えて使用すると、火災・誤動作・製品破損の原因となります。 仕様を確認の上、ご使用ください。
 禁止	■ 可燃性ガス・爆発性ガスの雰囲気では使用しないこと 火災・爆発の恐れがあります。 この製品は、防爆構造ではありません。
 指示	■ インターロック回路に使用する場合は ・ 別システムによる(機械式の保護機能など)多重のインターロックを設けること ・ 正常に動作していることの点検を実施すること 誤動作による、事故の恐れがあります。
 指示	■ 保守点検をするときは ・ 供給電源をオフにすること ・ 供給しているエアを止めて、配管中の圧縮空気を排気し、大気開放状態を確認してから実施すること けがの恐れがあります。
注意	
 指示	■ 保守点検完了後に適正な機能検査を実施すること 正常に機器が動作しないなどの異常の場合は、運転を停止してください。 意図しない誤動作により、安全が確保できなくなる可能性があります。
 アース線を接続する	■ 製品の安全と耐ノイズ性を向上するために、接地を施すこと 接地はできるだけ専用接地として製品の近くに、接地の距離を短くしてください。

■ 取扱い上のお願い

○製品の選定・取扱いに当って、下記内容を守ってください。

●選定に関して(以下の取扱いに関する取付け・配線・使用環境・調整・使用・保守点検の内容も守ってください。)

*製品仕様などに関して

- ・ UL に適合する場合、組み合わせる直流電源は、UL1310 に従う Class2 電源ユニットをご使用ください。
- ・ 規定の電圧でご使用してください。
規定以外の電圧で使用すると、故障、誤動作の恐れがあります。
- ・ 保守スペースを確保してください。
保守点検に必要なスペースを考慮した設計をしてください。
- ・ 銘板を取外さないでください。
保守点検時の誤りや取扱説明書の誤使用により、故障、誤動作の恐れがあります。

●取扱いに関して

*取付け

- ・ 落としたり、打ち当てたり、過度の衝撃を加えないでください。
製品が破損し誤動作する可能性があります。
- ・ 締付トルクを守ってください。
締付トルク範囲を超えて締付けると、ねじを破損する可能性があります。
- ・ 製品は足場になる個所には取付けしないでください。
誤って乗ったり、足を掛けたりしたことにより過大な荷重が加わると、破損することがあります。

*配線(コネクタの抜き差し含む)

- ・ ケーブルに繰返しの曲げや引っ張り、重い物を載せたり、力が加わったりしないようにしてください。
ケーブルに繰返し曲げ応力や引張力が加わるような配線は、断線の原因となります。
- ・ 誤配線をしないでください。
誤配線の内容によっては、製品が誤動作したり、破壊したりする可能性があります。
- ・ 配線作業を通電中に行わないでください。
製品が破損したり、誤動作したりする可能性があります。
- ・ 動力線や高圧線と同一配線経路で使用しないでください。
動力線・高圧線からの信号ラインのノイズ・サージの混入により誤動作の恐れがあります。
製品の配線と動力線・高圧線は、別配線(別配管)にしてください。
- ・ 配線の絶縁性を確認してください。
絶縁不良(他の回路と混触、端子間の絶縁不良など)があると、製品への過大な電圧の印加または電流の流れ込みにより、製品が破壊する可能性があります。
- ・ 製品を機器・装置に組込む場合は、ノイズフィルタなどを設置し、十分なノイズ対策を実施してください。
ノイズの混入により、誤動作の恐れがあります。

*使用環境

- ・腐食性ガス、化学薬品、海水、水、水蒸気の雰囲気または付着する場所では使用しないでください。
故障、誤動作の原因となります。
- ・サージ発生源がある場所では使用しないでください。
製品周辺に、大きなサージを発生させる装置機器(電磁式リフター・高周波誘導炉・モータなど)がある場合、製品内部回路素子の劣化または破壊を招く恐れがありますので、発生源のサージ対策を考慮頂くと共にラインの混触を避けてください。
- ・製品内部に、配線クズなどの異物が入らないようにしてください。
故障、誤動作の原因となります。
- ・製品は、振動、衝撃のない場所に取り付けてください。
故障、誤動作の原因となります。
- ・温度サイクルが掛かる環境下では、使用しないでください。
通常の気温変化以外の温度サイクルが掛かるような場合は、製品内部に悪影響を及ぼす可能性があります。
- ・直射日光の当る場所では使用しないでください。
直射日光が当る場合は、日光を遮断してください。
故障、誤動作の原因となります。
- ・周囲温度範囲を守って使用してください。
誤動作の恐れがあります。
- ・周囲の熱源による、輻射熱を受ける場所での使用はしないでください。
動作不良の原因となります。

*調整・使用

- ・各スイッチは先の細かい時計ドライバーなどで設定してください。
工具により設定スイッチを破損する恐れがあります。
- ・ご使用状況に合せた、適切な設定を行ってください。
不適切な設定になっていますと、動作不良の原因となります。
- ・プログラミングおよびアドレスに関する詳細内容は、PLC メーカーのマニュアルなどを参照してください。
プロトコルに関するプログラミングの内容は、ご使用のPLC メーカーにての対応となります。

*保守点検

- ・保守点検は、供給電源をオフにし、供給エアを止め、配管中の圧縮空気を排気して大気開放状態を確認してから行ってください。
システム構成機器の、意図しない誤動作の可能性があります。
- ・保守点検を定期的実施してください。
機器・装置の誤動作により、意図しないシステム構成機器の誤動作の可能性があります。
- ・保守点検完了後に、適正な機能検査を実施してください。
正常に機器が動作しないなどの異常の場合は、運転を停止してください。
システム構成機器の、意図しない誤動作の可能性があります。
- ・製品の清掃は、ベンジンやシンナなどを使用しないでください。
表面に傷が付いたり、表示が消えたりする恐れがあります。
柔らかい布で拭き取ってください。
汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってから汚れを拭き取り、乾いた布で再度拭き取ってください。

2. 概要

- (1) CompoBus/Sシステム
オムロン(株)製PLC(プログラマブルロジックコントローラ)SYSMACシリーズ本体とCompoBus/Sマスタユニットにより、マスタ(親局)とSIユニット等のスレーブ(子局)をケーブル1本で接続できるシリアル伝送システムです。
- (2) CompoBus/S対応SIマニホールド電磁弁
CompoBus/Sシステムに接続できるリモートI/O子局(出力ユニット)を有するマニホールド電磁弁です。SIユニットの占有出力点数は、16点と8点があります。
- (3) 1本のシリアル伝送ケーブルで多数の電磁弁を制御
SMC(株)のSIユニットは、PLC親局からダイレクトにシリアル伝送を行いますから、配線工数の画期的な低減が可能になります。
- (4) 高速通信サイクルタイム
最大32台の子局、256点(IN128/OUT128点)の入出力を1ms以下の高速な通信サイクルタイムで結びます。
- (5) T分岐方式、マルチドロップ方式により自由度の高いシステムを構築
T分岐方式、マルチドロップ方式で配線を自由に構成でき、幹線長を最大で100mまで延ばせます。
- (6) 大幅に軽減されるメンテナンス作業
信号配線がシリアル伝送ケーブル1本となり、誤配線・断線等のトラブル発生時の保

3. 適用電磁弁

SQ1000, 2000
SZ3000

4. 仕様

●一般仕様

項目	仕様	
型式表示	EX140-SCS1	EX140-SCS2
使用温度範囲	動作時：0～55℃、保存時：-20～+65℃(凍結および結露しないこと)	
使用温度湿度	35～85%RH(結露しないこと)	
耐電圧	外部端子一括とケース間 AC1500V 1分間	
絶縁抵抗	外部端子一括とケース間 DC500V 2MΩ以上	
使用雰囲気	腐食性ガスがなく、塵埃がないこと	
占有出力点数	16点	8点
出力形式	シンク/NPN(プラスコモン)	
接続負荷	DC24V、2.1W以下のサージ電圧保護回路付ソレノイドバルブ(SMC製)	
残留電圧	0.4V以下	
通信用電源電圧	DC14～26.4V	
電磁弁用電源電圧	DC24V -5%～+10%	
消費電流	通信電源 0.1A以下(DC24V時)	
保護構造	IP20	
質量	80g以下	

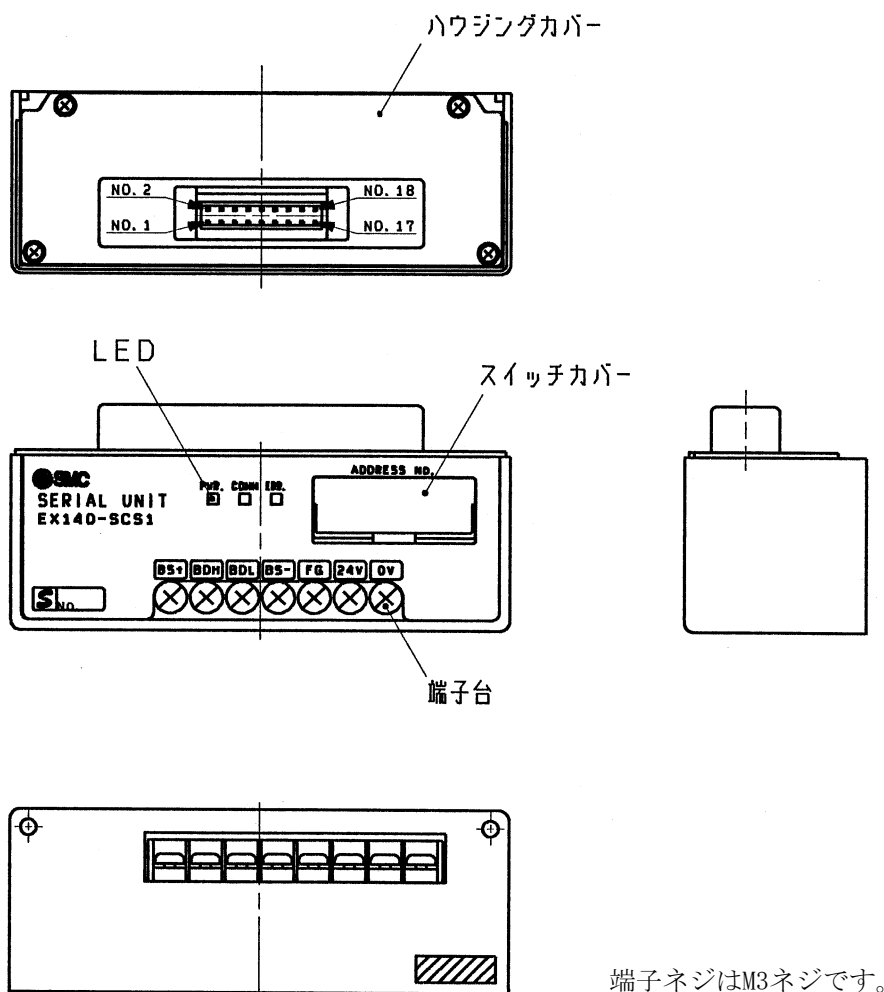
●CompoBus/Sシステム仕様

項目	仕様												
適応PLC	オムロン(株)製 C200HX/HG/HE , C200HS , CQM1												
通信方式	CompoBus/S専用プロトコル												
通信速度	750kbit/s												
変調方式	ベースバンド方式												
符号方式	マンチェスタ符号方式												
誤り制御	マンチェスタ符号チェック、フレーム長チェック、パリティチェック												
接続方式	T分岐方式、マルチドロップ方式												
距離	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用ケーブル種類</th> <th>幹線長</th> <th>支線長</th> <th>総支線長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>VCTFケーブル使用時</td> <td>100m以下</td> <td>3m以下</td> <td>50m以下</td> </tr> <tr> <td>専用フラットケーブル使用時</td> <td>30m以下</td> <td>3m以下</td> <td>30m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、専用フラットケーブル使用時でも、スレーブ接続台数が16台以下の場合、幹線長を100m以下に、総支線長を50m以下にすることができます。</p>	使用ケーブル種類	幹線長	支線長	総支線長	VCTFケーブル使用時	100m以下	3m以下	50m以下	専用フラットケーブル使用時	30m以下	3m以下	30m以下
使用ケーブル種類	幹線長	支線長	総支線長										
VCTFケーブル使用時	100m以下	3m以下	50m以下										
専用フラットケーブル使用時	30m以下	3m以下	30m以下										
最大入出力点数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用マスタ種類</th> <th>最大入出力点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形C200HW-SRM21使用時</td> <td>IN128/OUT128点 又は IN64/OUT64点</td> </tr> <tr> <td>形CQM1-SRM21使用時</td> <td>IN64/OUT64点 又は IN32/OUT32点 又は IN16/OUT16点</td> </tr> </tbody> </table>	使用マスタ種類	最大入出力点数	形C200HW-SRM21使用時	IN128/OUT128点 又は IN64/OUT64点	形CQM1-SRM21使用時	IN64/OUT64点 又は IN32/OUT32点 又は IN16/OUT16点						
使用マスタ種類	最大入出力点数												
形C200HW-SRM21使用時	IN128/OUT128点 又は IN64/OUT64点												
形CQM1-SRM21使用時	IN64/OUT64点 又は IN32/OUT32点 又は IN16/OUT16点												

〈参考〉

詳細については、オムロン(株) CompoBus/S ユーザーズマニュアル等を参照してください。

5. 各部の名称と機能



5-1 動作表示LED

LED名	内容
PWR	通信電源供給中に点灯、未投入時に消灯
COMM	正常通信中に点灯、通信異常、又は待機中に消灯
ERR	通信異常発生時に点灯、正常通信中、又は待機中に消灯

5-2 端子台

端子名	接続先
BS+	通信電源線BS+を接続
BDH	通信線BDHを接続
BDL	通信線BDLを接続
BS-	通信電源線BS-を接続
FG	接地線を接続
24V	電磁弁用供給電源線24Vを接続
0V	電磁弁用供給電源線0Vを接続

5-3 アドレス設定（局番設定）

(1) ADDRESS NO.（ノードアドレス）

ノードアドレスの設定範囲は、マスタユニットの種類や設定によって次のようになります。

●マスタユニット C200HX/HG/HE, C200HS用の場合

最大接続スレーブ数16台(IN8/OUT8台)の時、ノードアドレス0~7

最大接続スレーブ数32台(IN16/OUT16台)の時、ノードアドレス0~15

●マスタユニット CQM1用の場合

マスタユニットのPLC本体占有CH数と、1ノードアドレス当たりの占有点数の設定によって次のようになります。

PLC本体 占有CH数	1ノードアドレス 当たりの占有点数	ノードアドレス 設定範囲	最大接続 スレーブ数
IN1/OUT1CH	8点	IN :0~1 OUT :0~1	IN2台 OUT2台
IN2/OUT2CH	8点	IN :0~3 OUT :0~3	IN4台 OUT4台
IN4/OUT4CH	8点	IN :0~7 OUT :0~7	IN8台 OUT8台
IN1/OUT1CH	4点	IN :0~3 OUT :0~3	IN4台 OUT4台
IN2/OUT2CH	4点	IN :0~7 OUT :0~7	IN8台 OUT8台
IN4/OUT4CH	4点	IN :0~15 OUT :0~15	IN16台 OUT16台

〈参考〉

- ・ノードアドレスを設定する時は、他のスレーブのノードアドレスと重複しないように設定してください。重複すると、ノードアドレス重複が発生し、正常に通信が行われません。
- ・16点スレーブは8点のスレーブ2台分を占有し、同一チャンネル内に収まるように割り付けられるため、設定したノードアドレス以外のノードアドレスも次のように使用されません。

設定したノードアドレスが奇数の場合：1つ前のノードアドレスも使用

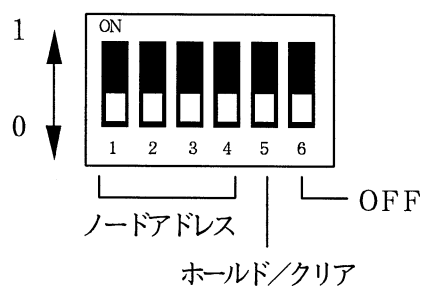
設定したノードアドレスが偶数の場合：1つ次のノードアドレスも使用

例えば、占有出力点数16点のSIユニットにノードアドレス5を設定すると、ノードアドレス4もこのSIユニットが使用することになります。

- ・マスタユニットがCQM1用の場合、4点モード時に8点スレーブを接続した場合は、内部では2台分として扱われ、設定したノードアドレスの次のノードアドレスも使用されます。この部分が他のスレーブと重複している場合は、エリア重複が発生し、Comp o Bus / Sの通信は起動できません。
- ・4点モード時には、16点のスレーブは使用できません。

(2) スイッチ設定

S Iユニット上部の端子台カバーを開き、ディップスイッチを設定してください。



●ノードアドレスの設定

SW1～4で、次のようにノードアドレスを設定します。 0:OFF 1:ON

ノードアドレス	SW1	SW2	SW3	SW4	ノードアドレス	SW1	SW2	SW3	SW4
0	0	0	0	0	8	0	0	0	1
1	1	0	0	0	9	1	0	0	1
2	0	1	0	0	10	0	1	0	1
3	1	1	0	0	11	1	1	0	1
4	0	0	1	0	12	0	0	1	1
5	1	0	1	0	13	1	0	1	1
6	0	1	1	0	14	0	1	1	1
7	1	1	1	0	15	1	1	1	1

5-4 ホールド/クリア設定

通信異常が発生した時、S Iユニット出力の状態を保持するか、全てOFFするかを設定します。

SW5によって次のように設定します。 0:OFF 1:ON

ホールド/クリア設定	SW5
クリア	0
ホールド	1

〈参考〉

SW6は、OFFのまま使用してください。

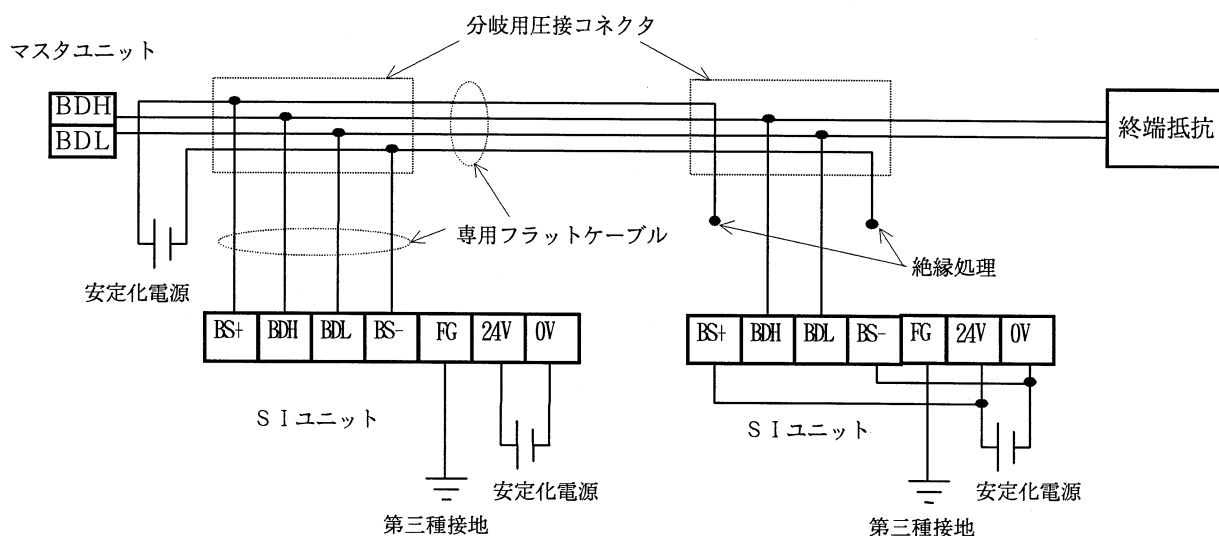
6. 配線方法

6-1 通信線の接続方法

CompoBus/Sのスレーブの接続方式には、T分岐方式とマルチドロップ方式の2種類があります。T分岐方式では、幹線から分岐させた支線にスレーブを接続し、マルチドロップ方式では幹線に直接スレーブを接続します。

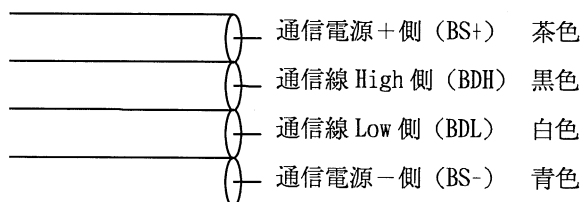
ただし、支線からさらに支線を分岐させることはできません。幹線から支線を分岐させる時は、専用の分岐用圧接コネクタか、市販の端子台を使用します。

SIユニットに通信ケーブルを接続する場合は、BDH、BDL通信線をBDH端子、BDL端子にそれぞれ接続します。また、通信電源BS+、BS-線もBS+、BS-端子にそれぞれ接続します。



本SIユニットはマルチ給電タイプスレーブです。通信用と電磁弁用の2つの供給部があります。通信用の供給部には、専用フラットケーブルによる給電が可能です。電磁弁用の供給部には別電源が必要です。また電磁弁用供給電源から通信電源供給部への給電も可能です。

専用フラットケーブルでは、通信線は次のように決められています。



⚠ 注意

通信ケーブルはノイズ等の影響を受けないように、動力線、高電圧線から分離して配線をしてください。

ケーブルは間違えないように接続してください。誤配線をしますとSIユニットや他の装置を破損する恐れがあります。

適用ドライバーは刃先が#2で径がφ6以下のプラスドライバーです。

また、締付けトルクは0.5~0.6[Nm]で確実に締付けてください。

6-2 終端抵抗

通信を安定させるために、マスタと反対側の幹線の端（最も遠いケーブルの端）に、終端抵抗を取り付ける必要があります。終端抵抗は、下記のオムロン（株）製のものを使用してください。

形 SRS1-T	終端抵抗付端子台	VCTF、専用フラットケーブルに使用可能
形 SCN1-TH4T	終端抵抗付圧接コネクタ	専用ケーブルのみに使用可能

終端抵抗付端子台に通信ケーブルを接続する場合は、BDHとBDL通信線を各端子に接続します。

幹線の端のスレーブがT分岐方式で接続されている場合は、終端抵抗の位置がマスタから最遠端になるように、その支線よりも長いケーブルで終端抵抗を接続してください。

6-3 通信ケーブル

種類	仕様
VCTFケーブル(市販品)	ビニルコードVCTF JISC 3306 2芯公称断面積 0.75mm ² (信号線×2) 導体抵抗(20°C) : 25.1Ω/km
専用フラットケーブル 形 SCA1-4F10 (長さ 100m)	公称断面積 0.75mm ² ×4 (信号線×2, 電源線×2) 使用周囲温度 : 60°C以下

6-4 電源の配線

本S Iユニットはマルチ給電タイプスレーブです。通信用と電磁弁用の2つの供給部があります。

(1) 通信電源

- ・通信線にVCTFケーブル使用時

通信用のVCTFケーブルとは別のケーブルでS Iユニットに電源を供給します。

- ・通信線に専用フラットケーブル使用時

専用フラットケーブルからS Iユニットの通信電源を供給できます。

(2) 電磁弁用供給電源

DC 24V - 5%, +10%の電源を接続してください。電磁弁およびS Iユニット消費電流から、電源及び接続ケーブルを考慮してください。

電磁弁用供給電源からS Iユニットの通信電源供給部への給電も可能です。

<参考>

起動時の突入電流などを考慮して、十分な電源容量を持つ電源を用意してください。

注意

専用フラットケーブルの余った電源供給線端は絶縁処理してください。

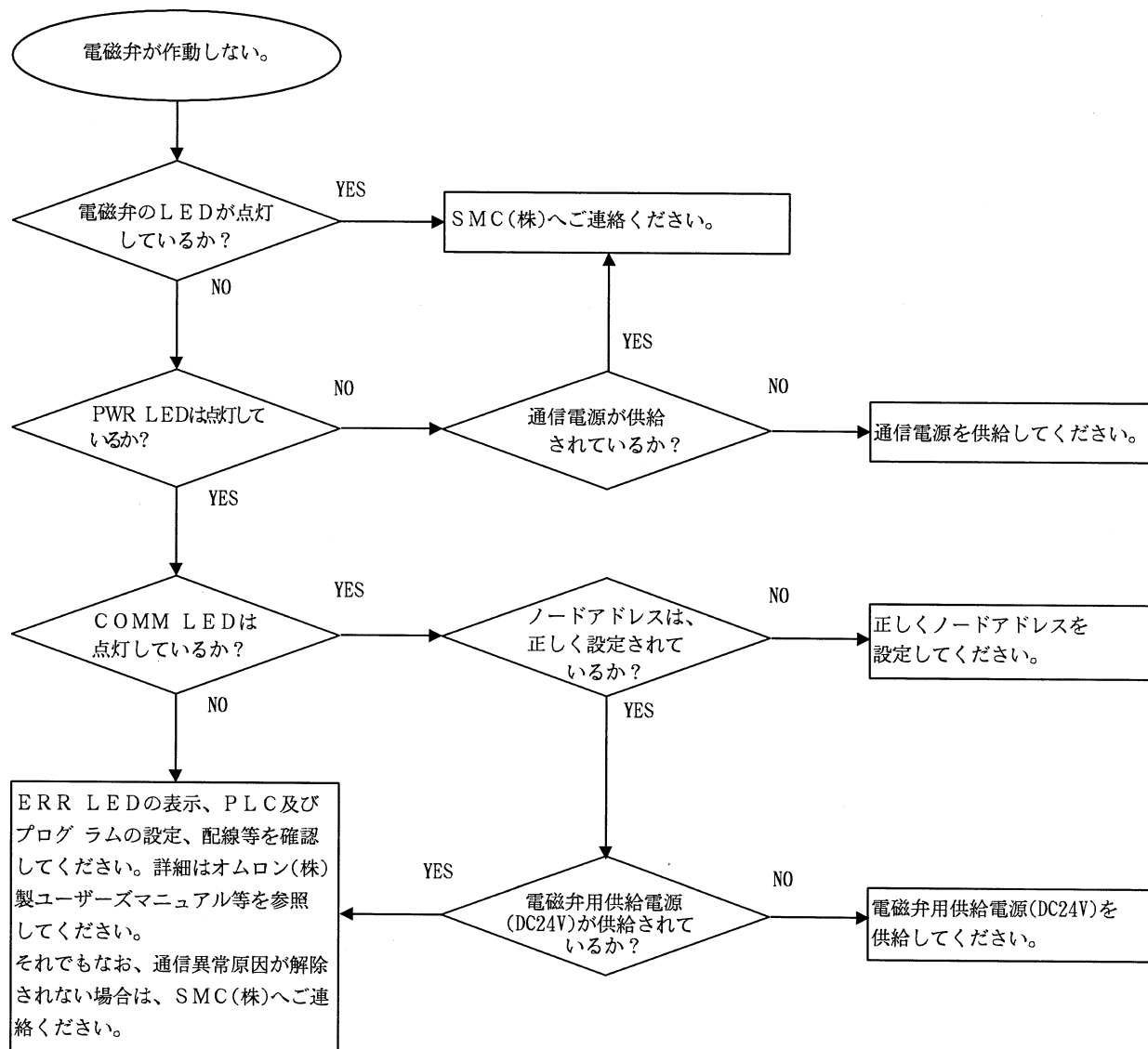
適用ドライバーは刃先が#2で径がφ6以下のプラスドライバーです。

また、締付けトルクは0.5~0.6[Nm]で確実に締付けてください。

7. トラブルシューティング

以下にS Iユニットが正常に作動しない場合に異常原因を解除するためのフローを示します。

全体のトラブルシューティングは、オムロン(株) CompoBus / ユーザーズマニュアル等を参照してください。



改訂履歴

B版：記載内容変更

SMC株式会社お客様相談窓口 |  **0120-837-838**

URL <http://www.smcworld.com>

本社 / 〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX 15F

③ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
© 1999-2014 SMC Corporation All Rights Reserved

No. EX※※-0MC0026-B